

人をだます人が一番悪いということ、始めに明確にしておかなければなりません。そのうえでお話をします。

社会ではある程度、「だます・だまされる」ことで成り立っているといってもよいかもしれま

せん。「おきれいですねえ」と言われたり、実年齢より若

く見えますねという表現があふれています。実際にウソだとしても、言われた人が喜んでいれば、全く問題はないでしょう。むしろ、相手を心地よくしているのですから良いことかもしれませぬ。ウソを言

われていても相手にバレなかったり、言われた人が「ホント」

として受け入れれば、ウソは成立しません。むしろ、「お若いんですね。いえいえ、あなたこそ」くらいのやり取りの方が社会は円滑にす

すむかもしれません。

しかし、言われたほうが受け入れることができないことになると、ウソになるのです。だいたいは、

● 儲かる ● 病気が治る ● やせる

結婚できる ● 貸したお金が返され

るなどが問題になるような気がします。

「ウソ」という事実があるのではなく、自分の予想・思い・願望が満たされなかったときに「ウソ」になり、だまされたという状態になるので。自分の思い・欲望を満た

だまされる方が悪いのか？

そうとする心が「だまされる」をうみだすのです。だます人が一番悪いのです。ただ、だまされる前に、

自分の欲望をその言葉を利用して満たそうとしていることに気づきましよう。いきなりだまされるのではありません。その前には、必ず

「自分の欲」があるのです。